

照明技術賞

- 最優秀照明賞 劇映画部門 蔵 (東映) 担当 増田 悦章
- 最優秀照明賞 TVドラマ部門 刑事 (日本放送協会) 担当 渡辺 恒一
- 最優秀照明賞 C・M部門 金鳥蚊取り線香
夏うれしいね篇 (CMハウス) 担当 内田 正明
- 優秀照明賞 産業・教育・記録映画部門 音楽ファンタジー幻蒼 (日本放送協会) 担当 井村 正美
- 特別賞 劇映画部門 ラブレター (㈱フジテレビジョン) 担当 中村 裕樹
- 奨励賞 TVドラマ部門 通りゃんせ (日本放送協会) 担当 関 康明
- 奨励賞 産業・教育・記録映画部門 神さぶる (文化工房) 担当 中山 敬一
- 第19回協会賞 永年(40年)勤続 栗木原 毅 有賀 清 北沢保夫 三枝宏次 志村昌彦
滝澤雄一郎 矢部一男 松橋仁之
- 第5回伊藤幸夫賞 浅山 隆夫 (日本放送協会) 有賀 清 (アール・デイ・エス)

最優秀照明賞 劇映画部門 「蔵」

増田悦章

昭和6年9月15日生

昭和25年東映映画入所。昭和26年東映設立と共に入社。33年技師となる。主な作品：残菊物語、朱雀門、地獄花、日蓮と蒙古大襲来、弁天小僧、薄桜記、新源氏物語、寒椿、新極道の妻たち、わが愛の譜「滝廉太郎物語」、東雲楼「心の乱」、等約劇映画140本。

選定理由：宮尾登美子原作。雪国の蔵元を舞台にした人間模様を時代の空気感と共によく表現し、格調ある画調で作品の完成度を高めた照明技術は高く評価されました。ここに平成7年度劇映画部門最優秀照明賞を贈ります。

最優秀照明賞 テレビドラマ部門 刑事

渡辺恒一

昭和13年9月16日生

昭和32年日本放送協会入局、36年テレビ小説「娘と私」のL・Dを担当、主に時代劇作品を中心に担当、現在に至る。主な作品：国盗り物語、黄金の日々、忠臣蔵、峠の群像、新坊っちゃん、御宿かわせみ、おしん、宮本武蔵、ドラマスペシャル絆、春日局、等多数。

最優秀照明賞 CM部門

金鳥蚊取り線香 (夏うれしいね篇)

内田正明

昭和26年3月20日生

昭和46年フリーランスアシスタントとして照明助手となる。以来、伊地知完、今井肇、石井大和氏に師事、昭和51年L・Dとして独立。以来CMを中心に担当、現在までに約1000本強。金鳥蚊取り線香についてはレ

ギュラーで担当、現在に至る。

選定理由：夏の風物詩である、花火と螢と蚊取り線香かをからませ、その中に人物を埋めこみ、幼い頃の夏の一時を思い出させるCMになっており、光のバランスが見事にフィルムに再現された照明技術は高く評価され、ここに平成7年度CM部門最優秀照明賞を贈ります。

優秀照明賞 テレビドラマ部門

音楽ファンタジー幻蒼



井村正美

昭和33年11月6日生

昭和54年4月松崎照明研究所（現
柳松崎照明）入社、舞台、TV（中継）
フィルム照明に従事、以来NHK、民
放ドラマドキュメンタリー作品に参
加、現在NHK 作品を中心に活動、
日本映画照明協会理事。主な作品：

平成6年たばたきの海に、NHK 特集「春の海」他。

選定理由：音楽映像詩としてこの作品の意図を充分把握し
幻想的な映像作りに、時にはモノクロを思わせる照明、又
陰影を巧みに生かしたカラー照明と優れた照明技術に依り
大きく作品に貢献したものと認め、ここに平成7年度産業
教育記録映画部門優秀照明賞を贈ります。

特別賞 劇映画部門 ラブレター



中村裕樹

昭和33年1月1日生

1979年円谷プロにて照明助手とな
る。1987年アメリカ映画「ベニーカ
ーター物語」にて技師担当、1991年
「アジアビート アイ ラブ ニッポン」
「ごあいさつ佳代さん」「はるかノス
タルジイ」、1992年「シーズレイン」

「病院で死ぬということ」、1993年「クレープ」、1994年「東京兄弟」
「時の輝き」「LOVE LETTER」。

選定理由：相手不在のラブストーリーという今日的テーマを
よく理解し、厳寒、雪国の困難なロケセットのなかで、新鮮
な画調を生みだし、作品の完成度を高めた照明技術は高く
評価されました。ここに、平成7年度劇映画部門特別賞を
贈ります。

特別賞 テレビドラマ部門 通リゃんせ

関 康明

昭和42年9月30日生

平成元年日本放送協会入局、当初
音楽番組に参加、平成2年時代劇快
刀乱麻赤頭巾、映画ふたり、君の名
は、ひらり、等を経て、平成4年ド
ラマ「銀の雫」でL・D担当。主な作
品：系列、かりん、始皇帝、明るい



関係、通リゃんせ等。

選定理由：通リゃんせの照明は基調、色調共に適切であり、
江戸時代の下町情緒を見事に表現して作品の格調を高め、
その功績は高く評価されました。ここに平成7年度テレビ
ドラマ部門奨励賞を贈ります。

奨励賞 産業教育記録映画部門 神さぶる

中山敬一

昭和9年11月12日生

昭和30年調布映画撮影所入社、後
東宝撮影所、近藤プロダクションに
移り、昭和50年以後フリーとして活
躍。主な作品：石川の四季、償い、
悲しみの出発、青森ねぶた祭り、法
悦への旅立ち、なまはげ世界漫遊記、



東大寺甕の仁王昨形編、阿形編、祭りの日々（ハイビジョン）、簾
職人鈴木寿雄、鋳物師の技、ゆうゆうたる持統、10X-AROZA（ハ
イビジョン）等多数。

選定理由：記録映画としての照明から一歩進んで陰影を生
かした照明技法により作品に大きく貢献したものと認め、
今後更なる活躍を期待し、ここに平成7年度産業教育記録
映画部門奨励賞を贈ります。